

【学校教育理念】(ミッション) 自立し、将来において地域社会を担う人材を育成する。  
(ビジョン) 地域の人や保護者が通わせたい〈学ばせたい〉と思う学校を目指す。

【教育目標】

ゆめ・あこがれ・そして挑戦！

めざす子ども像

- ・自ら考え、学び、自ら行動する子ども
- ・切磋琢磨し、たくましく生きる子ども
- ・全力を出し切り、挑戦する子ども

【本年度重点目標】

生きる力につながる基本的生活習慣を身につけさせる。

将来につながる社会的ルールを習得させる。

【本校の実態】

- ・家庭生活習慣（3点固定、テレビ・ゲームの時間など）については、十分な定着が見られるが個人差・家庭差が大きい。
- ・学校生活では、『自ら考え、自ら行動する』という部分が弱く、ろうかの右側を静かに歩くことなどが定着していない児童がいる。

【本年度の重点課題】

重点課題と手立て

達成目標・評価項目

重点課題Ⅰ

基本的生活習慣の確立

手立て

毎日、3点固定のうち起きる時刻、寝る時刻を重点的に「生活カード」で点検し、生活朝会にて、評価していく。

毎日、「テレビ・ゲームの時間を2時間以内にする」を「生活カード」で点検し、生活朝会にて、評価していく。

月末の振り返りで、8割以上「よくできた」児童の割合を90%にする。

月末の振り返りで、8割以上「よくできた」児童の割合を85%にする。

重点課題Ⅱ

社会的ルールの習得

手立て

「ろうかの右側を静かに歩く」について、月に1回「学校生活ふり返りカード」で点検し、生活朝会にて、評価していく。

「あいさつ（いつでも、だれにでも）」について、月に1回「学校生活ふり返りカード」で点検し、生活朝会にて、評価していく。

「ろうかの右側を静かに歩く」が「できた」と評価する教師の割合を80%にする。

「あいさつをよくしている」と評価する保護者の割合を80%にする。（4・7・12月にアンケート実施）